

第11回 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事録

開催日時	2022年12月19日(月) 9:30~11:51	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 1階視聴覚室(ウェブ会議併用)	
出席者 (敬称略)	委員	豊田範子、杉山由香子、平城聖子、前田美和子、北川もと、竹村礼子、田中昭光、大隅明、仲村清彦、浅沼秀作、◎鯉坂映子、河村直樹 (◎会長)
	事務局	指導課、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容(敬称略)

1 第10回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料1 説明)

2 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書(案)について

新たな学校推進課 (資料2-1 説明)

委員 「まちとも」は報告書に記載されるのか。

新たな学校推進課 「まちとも」については、本検討会での議題として触れていない。今回こちらに掲載したものは、本検討会で議題となった案件になる。「まちとも」と「学童」など様々な課題は認識しているので、来年度以降に向け、検討課題の一つとして取り組んでいく。

委員 私としては、「まちとも」について話し合うべきだと思っている。検討会が残り少ないから、話し合えないことはよくないと思っているので、その機会が欲しい。

また、その他にも3つ話し合いたいことがある。

1つ目は、鶴川第二中と真光寺中の統合年度の想定について。2036年度になっているが遅過ぎると思っている。

2つ目は、新しい校舎をつくるということで校舎の配置等については話し合ったが、学校の敷地まわり、鶴川第四小の周囲の鶴川三丁目の地元の者は、学校前に歩道をつくってほしい等意見がある。学校の施設配置だけでなく敷地や周囲まで含めて、意見をみんなで話し合う機会をつくってほしい。

3つ目は、子どもの安全をいかに守るか。通学よりも、学校へ来てからの安全。例えば、「まちとも」。学校が機械警備になった。大阪の池田小の事件があり、それ以降、安全に対する考え方が変わった。そのため、現在職員朝会をやっている学校はほとんどない。打合せは子どもが帰ってから、夕方やるという形式になっている。朝来たら最初に教員はパソコンを見て、連絡事項があり対応する。例えば、教員は8時15分勤務開始だが、勤務開始の時点では必ず教室にいないといけない。子どもだけで教室にいることはなくすということとなっている。そういう時代の流れがある。

新しい学校の場合に、時代に沿って変わっていかなければいけないということを話し合いたい。何かそういう機会を今後設けて欲しい。

新たな学校推進課 基本計画の検討は、今回と1月の検討会で終了になるが、来年度以降も、具体策等を学校統合までの間で話し合わないといけないことはたくさんある。意見をもらいながら、反映していくかを考えていく。

委員 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会を進めていくにつれ、この統合の計画自体は検討の一つにはなるのか。

新たな学校推進課 町田市新たな学校づくり基本計画という大元の計画で、検討会着手年度を記載している。その年度の時点で児童数や、学校の老朽化の状態などを総合的に見た上で、各地区の新たな学校づくり検討会を構成し、計画をつくっていく。

今後、統合がまだ先の学校の場合、例えば鶴川第二中、真光寺中の統合において、生徒数の減る推計データが想定よりも減少しないなど、様々な事情で計画の変更を余儀なくされる場合もある。その際も、検討着手年度という年度を基本として、検討会の開催時期を遅らせたりすることも起こり得る。

ただ、鶴川西地区に関しては、検討会着手年度が2021年度であり、児童数の推計人数が減少することが想定されるということで検討会をスタートしている。

委員 今のことで関連して、通学区域緩和制度要するに学校選択制を町田市は採用している。東京都で最初に学校選択制を取り入れたのは品川区。そのまま継続すると、存続できなくなる学校がある。人気、不人気があるから、人気が無い学校は瞬く間に全校生徒が小学校で62人になった。そういう学校が出てくる。このままにしておくと、鶴川第三小はなくなる。

そういう学校選択制よりも、市が計画を立てて、一番良い統合や、このような検討会などで意見を出し合う方が私は良いと思っている。

新たな学校推進課 (資料2-2 説明)

〔 ワークショップ 〕

グループA 通学の負担軽減については、Bのエリアに住んでいる人が少なく、遠距離から通学する児童も少ないことが想定される。このことから学校に来る場合には、自分で自分を守るという発想も必要である。

新たな学校の通学の安全対策としては、交番のある交差点について意見が出た。あそこには他の信号機との距離などの問題から、新しい信号機を設置することはできないという現状があるので、朝の登校時には、交番にいる方に依頼して交差点に立ってもらおうとか、旗振りボランティアに立ってもらおうとか工夫をしていかなければいけないという意見が出た。

グループB 通学の負担の軽減についてのところでは、路線バスを利用する際の懸念点として、

費用負担の面について具体的に書いたほうが良いという意見が出た。

また、バス事業者などと協議し、理解を得ながらやっていってほしいという意見もあった。

それから、通学路の関係では、(2)通学の安全対策に向けて、地域の方々の理解も、新しい通学路等ができてくると必要になってくるので、そのような視点も言葉として入れておくべきという意見があった。

新たな学校推進課 (資料2-2 説明)

[ワークショップ]

グループB (3)(2)の整備に向けてでは、例えば避難施設として使うことを考えたときの視点などについて言及をしたほうが良いという意見があった。

(4)は一緒に合流してくということは大事で、やり方もいろいろ考えていかないといけないという話が出た。

グループA (3)(2)は、南側ののり面に歩道をつけ、スロープを作ってほしい。また、鶴の台を整地して、校庭をできるだけ広くしてほしい。あと、樹木についても、何を植えたらいいかということについて希望できるようなことがあったらいいということをもとめられると良いという意見が出た。

(4)の子どもたちへの配慮は、現在、地域でマラソン大会が1つあり、これから遠足や、スポーツ大会など、様々な交流ができればいいという意見が出た。

もう一つは、校舎。この次のところに出てくるかもしれないが、校舎の「さようなら会」をしたいということで、校舎の公開日をつくって、地域のいろんな人に校舎を見てほしいとか、映像で残しておいて、バーチャルで、人間が通っているような感じに記録を残しておいたらいいという意見が出た。

新たな学校推進課 (資料2-2 説明)

[ワークショップ]

グループB (5)の学校名(案)のところは特に意見はなかった。

(6)の歴史の継承のところでは、歴史の継承ということで、どう引き継いでいかや残していくかの点でまとめているが、なくなる校舎で思い出を残していくことや、思い出を残していきたいというような意見があった。あとは、卒業生の声を聞いてみたらいいのではないかな等、卒業生に関する視点の意見も入っていていいのではないかな。という意見が出た。

グループA こちらのグループでも、学校名については特になかった。歴史の継承では、デジタル化は仕方がないという意見の一方で、デジタル化の説明や解説については、正し

い知識のある方にしっかり残してもらいたい。

それから、資料だけではなく、学校の様子などの写したものを学校のホームページに張っておき、QRコードで見ると昔の学校が映っているものが見える等をしてほしいことや、鶴川地区の歴史として自由民権資料館に、明治の初めからしばらく残っているような資料も含めて、きちっと整備するというのも一つの方法であつとうことと、デジタルミュージアムがあるので、そういったミュージアムに向けて資料の提供をしていくという意見が出た。

新たな学校推進課（資料2-2 説明）

〔 ワークショップ 〕

グループA （7）新たな学校の育てたい子ども像は、書いてあるとおりで良い。

（8）新しい学校に移る際の人材についてバックアップできる体制等を書いておいてほしいという意見が出た。新たな学校の地域協働については、学校のPTAについては、今までのPTAの発想だけではなくて、地域や保護者が支え合うことや、保護者が子どものことについて話し合う場が少なくなっているの、そういうものをちょっと取り戻すことや、おやじの会の活用、男性の活用をしていくとか、地域のおじいちゃん、おばあちゃんに活躍していただくPTA活動というのも考えられるのではないかという意見が出た。PTAがやってきた土台を生かすような新たな体制をつくっていくこと、新たな形のPTA活動を考えていけたらどうかということが意見として出た。

（10）新たな学校の校歌・校章については、主なところはこれで良いが、校歌については、交流している間に2つの学校の校歌が歌えるようにしたらいいとか、ゆっくり作成しても良いという意見が出た。ただ、体育館のどん帳など、新しい校章を使用した制作物も学校統廃合の式典に間に合うように制作する必要がある。どん帳はどこがお金を出すのかという疑問点も出た。今後、確認は必要だが、もしかしたらPTAで予算を確保しないといけない可能性があるということが確認できた。

グループB 全体として、記載に関しての意見はなく、内容に関する意見が出た。

（7）の育てたい子ども像では、子どもはもちろん、保護者も先生もみんなで成長していけることが大事であるという話が出た。

（8）の地域協働では、学校運営協議会のメンバーの年齢のバランス等も考えた方がいい、ボランティアコーディネーターも活躍の場をどんどん増やしてほしいというような意見が出た。

（9）のPTAは、グループAと同じように様々具体的なお話しの意見を聞いた。

（10）の校歌・校章についても同様に、これから考えていくべきことについて、いろいろと意見が出た。

会長 それでは、報告書（案）の取りまとめに向けたワークショップを終了する。

本日、委員の皆様からの意見を踏まえ、事務局とともに加筆修正し、報告書を作成

するが、最終的な記載内容については会長である私に一任して欲しいと思う。

〔 異議なし 〕

新たな学校推進課 次回が最終回となり、2023年1月23日月曜日9時30分から
鶴川第四小学校で開催する。